

年頭の ごあいさつ



幸田町長 ^{なる}成瀬 ^{あつし}敦

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さんにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、甚大な被害をもたらした能登半島地震により不安を抱く中で新年のスタートを切ることとなりました。本町からは、令和6年4月1日から1

年間の予定で災害時相互応援協定を結ぶ石川県内灘町に職員1人を派遣しており、未だ震災の爪痕が残る被災地への支援を引き続き行っています。また、依然として続くウクライナおよび中東情勢に起因する物価高騰など、私たちの生活に大きな影響を及ぼす状況は続いています。一方で、国内の景気は30年ぶりの高い水準となった賃上げ、設備投資、株価において、明るい兆しも随所に見られるようになってきました。

そうした中、本町においては、昭和29年8月1日に豊坂村と合併してから70周年の節目を迎え、「もっと輝く幸田を、みんなで♪」をキャッチフレーズにさまざまな記念事業に取り組みを進めました。町民の皆さんと共に70年の歴史を振り返り、そして、「まちの未来」を見据え、町内外への魅力

発信をすることで、さらなる町の活性化につながる事業を実施してきました。今後も2月にはダンスイベント、3月にはミュージカルなど皆さんと一緒に

つくり上げる事業が予定されています。記念事業の実施にあたり、地元企業や地域の皆さんからたくさんのご参加、ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、本町として喜ばしい出来事もありました。経済・社会・環境のパラ

ンスの取れた社会を目指す世界共通の目標として掲げられているSDGsについて、その達成に向けて優れた取り組みを提案する都市として、県内の町村では初めてとなる「SDGs未来都市」の選定を内閣府から受けました。この選定を契機に、「しごとがひとを呼び、ひとがしごとを呼び込む。そして、この好循環を支えるまちの活力向上」に繋がる取り組みを進め、本町ならではの持続可能な町を皆さんと共に

つくっていききたいと考えています。新しい年を迎えるにあたりましては、人口減少問題や子育て支援などさまざまな課題はありますが、町の将来像を描く第7次幸田町総合計画の策定に加え、将来の展望が開ける輝かしい町をつくるために、「防災・減災・安全

心基盤づくり」、「都市基盤整備づくり」、「子育て・教育支援」、「医療・健康・福祉・介護の体制整備」、「産業振興・働き方改革」、「新産業の立地支援」、「商工・アニメ

ツーリズム・観光事業の推進」、「文化・スポーツの推進・居場所づくり」、「環境保全と持続可能な開発」、「DX推進・財政健全化・人材育成」の施策を積極的に進めていきたいと考えています。

将来の展望が開ける輝かしい町をつくるためには、町民の皆さんの力をい

ただきながら、一緒になって取り組んでいくことが重要です。そして、これまでの70年の歩みを礎に、10年後、20年後、そして幸田町町村合併100周年を皆さんと祝えるように、新たな町の魅力発掘と町内外への発信を続け、さらなる町の活性化に向け取り組んでまいりますので、今後とも町政への変

わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい一年が皆さんにとって幸多き年になりますことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

